

\* 2025年度以前に履修登録された EB68（医療福祉経営論）とは別科目になりますのでご注意ください

専門教育科目 講義科目

授業科目名	医療福祉経営論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	中村 誠司	EB92	3・4	4

#### 科目の概要

「医療福祉経営」とは、健康や医療に関わるサービスを提供する施設である病院、診療所、健診センター、老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーション、介護サービス事業所などにおける医療経営全般をさす。

本科目では医療福祉の現場で、マネジメントなどに携わる人々、医療福祉経営に関して専門的に学びたい人、医療産業や医療政策に関わりたい人などを対象にヘルスケア全般について学んでいく。企業経営で有効とされる理論のみならず、医療福祉の現場で想定される様々なケースについて考察し、実際の場面で応用可能なマネジメントに関する知識の習得を目指す。

#### 科目の到達目標

- ①医療経営の知識は、医療の質向上や組織の持続可能性に不可欠である。医療経営に関する専門性と実践力を高めることができる。
- ②医療機関の経営層や医療系学生に限らず、組織やチームの先導者に必要な経営の要点を網羅的に理解し、MBA理論を実践的に活用できる。

テキスト 『医療経営学概論』 裴 英洙, 日経 BP, 2025年

#### テキストの読み方

- ①医療職が経営を学ぶ背景と必要性：医療職が突然管理職になる現実や経営知識の欠如などの課題
- ②医療経営の基礎理論と実践応用：基本概念（戦略・財務・人事・マーケティング・交渉等）の応用
- ③医療経営人材の育成と連携：医療経営人材に求められるスキルや教育、医療機関の持続的成長への提言。以上、大きくとらえるとこのような構成です。第1章から第8章までを読み、それぞれの章に関連する身近な課題について考察してみる。該当するページを読み返すことで理解を深め、自分の考えをより明確にしていく。

#### 単位修得の方法

- ①レポート課題（基本・応用）を提出し、それぞれ60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、4単位を修得できる。または、
- ②基本レポートを提出し、60点以上であれば合格となり、スクーリングを受講できる。スクーリングに合格すると、評価が確定し、4単位を修得できる。この場合、応用レポートの提出は不要。